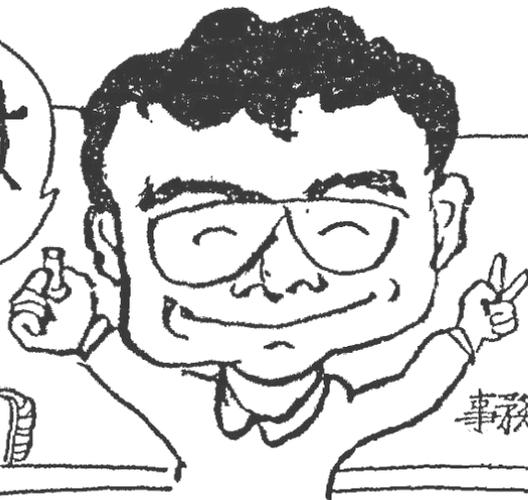


こんにちは

日本共産党
県議会活動報告
週刊ニュース

2014年2月16日 NO.788



さら とみ ひこ

吉良富彦 です

事務所

吉良富彦事務所 855-9439 愛宕商店街
議会控室 823-9524 県議会内

当てにならんオスプレイ 防災は常備消防団強化を



●2月7日、陸上自衛隊高知駐屯地（香南市

香我美町上分）で実施された米軍との統合防災訓練の視察に共産党県議団で行った。他の県議の姿はなかった。

防衛省中国四国防衛局調整課長が冒頭「主役のオスプレイとCH53の米軍の参加が沖縄の天候不良、特に、着氷のおそれありという事で参加が見送られた」と。「天候不良って具体的にどのような天候？」と聞くと、「わかりません」。そして、訓練内容でなく、「オスプレイは24名輸送、CH46は12名だ」等々、オスプレイの優位性についての説明。だが、今回使用した機（上写真）はCH47。輸送は33名にエキストラ・シート11名分、または

24名の担架設置で、オスプレイより能力が高い。CH47ではなく、なぜCH46と比較？と指摘されると「専門でないのではありません」とはぐらかした。「わからん」「米軍の事やき知らん」というのは「軍事訓練」時と同じ態度。

土佐清水での海上自衛隊機US2での医薬品輸送・患者搬送の訓練も中止された。

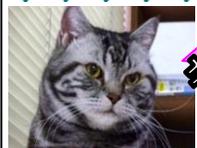
●今回の事でわかったことは、民間機や自衛隊機も飛べる天候でも、オスプレイは飛ばせん！いつ起こるかわからない災害救助には役に立たん！あてにせられん！という事。

防災を口実にした軍事訓練で沖縄のオスプレイ基地固定化、高知の沖縄化は許さないと、ゲート前で400名が意思表示していた。



あてにならない「防災」訓練への莫大な税金を地元消防団の強化など常備防災力強化にまわし、市民とともに訓練すべし。

選挙リン にやんでも通信



「市民運動を幅広いものにした」と、選挙直後に語った宇都宮さんの言葉に励まされます。何度でも何度でも、相手が根負けするまで立ち上がる！

●何度でも何度でも、相手が根負けするまで立ち上がる！
暴力団にも尻込みせずサウ金、ヤミ金による被害者救済に取組んだ草分け弁護士。安倍暴走政権による庶民の暮らし破壊との戦いはこれから、

●東京都知事選挙 大健闘
宇都宮けんじさん（日弁連前会長）の得票数は前回を上回る98万2,594票（+1万3634票）で得票率は20.2%もの獲得だったが第2位で舛添氏に及ばず。一回目の立候補時より運動は広がったが「政策について、メディア通しての討論が少なかったことは問題。」と宇都宮氏。翌朝10日の全国紙では第3位の細川候補の名を見出しで躍らすも朝日新聞以外は宇都宮氏の名を出さず！地元紙も同様！